

まほろば秦野通信（再送）

平成28年8月12日

秦野市市長公室広報課

タイトル	<p>うりゅうのひやくはったい 瓜生野百八松明（昭和50年8月22日市指定重要文化財に指定）</p> <p>瓜生野盆踊り（昭和52年7月16日市指定重要文化財に指定）</p>
When (いつ)	<p>8月14日(日) 荒天の場合は15日(月)に順延</p> <ul style="list-style-type: none">・午後7時～ 権現山山頂で松明点火（瓜生野百八松明開始）・午後8時 瓜生野百八松明終了、瓜生野盆踊り開始 <p>駐車スペースに限りがあるため、取材していただける場合は事前に広報課へご連絡ください。午後6時半に広報課にお集まりいただき、現地までご案内いたします。</p>
Where (どこで)	<p>瓜生野百八松明：権現山山頂～龍法寺(南矢名 1533)門前</p> <p>瓜生野盆踊り：南矢名上部町内会館(南矢名 1745-2)前広場</p>
Who (だれが)	<p>瓜生野百八松明保存会（藤澤健一会長）</p> <p>瓜生野盆踊り保存会（川口三枝子会長）</p>
What (なにを)	<p>開催当日の午後3時から、保存会の手で麦わらを使い長さ2～3m・直径30cmの松明50～60本を作る。</p> <p>この松明を権現山山頂に運び、日の沈むのを見計らい、積み上げた焚き物（麦わらの山）に点火し、その火を松明に移す。それを法被を着た保存会の子どもたちを先頭に、火のついた松明を担いで下山する。</p>
How (どのように)	<p>30分ほどかけて麓の龍法寺門前に着くと大きく松明を振り回すが、残り火が勢いを増し、燃え上がったり、火の粉が飛び散ったりする勇壮な行事。</p> <p>百八松明が終了すると近くの南矢名上部町内会館前広場では、江戸時代から伝わる瓜生野盆踊りが始まり、女性たちによって「若松様(手踊り)」「ささら舟(手拭いを持って)」「おちょこちよいのちよい(扇を持って)」の3種類の踊りが披露される。</p>
Why (なぜ)	<p>南矢名地区で江戸時代中期から続く「瓜生野百八松明」は、五穀豊穰、悪疫退散を祈願する盆の行事。明治23年に伝染病が流行し、数人の死者が出たため1年だけ中止になった以外、数百年も地域住民の手で続けられている。</p>
過去の実績	<p>以前は、8月14日と15日の両夜に行われていたが、最近では麦わら集めが難しくなったため、平成10年から14日だけの開催となった。</p>
問い合わせ	<p>教育部生涯学習課文化財担当（桜土手古墳展示館内） 担当：室田</p> <p>電話0463（87）9581</p>

